

国語科

【研究主題】

豊かな言葉で思いや考えを伝え合う生徒の育成

【研究副主題】

生徒一人一人が自己の成長を実感する言葉の学び

公開授業

学級：2年2組

授業者：田尻 志希



和の心 再発見 ～ プレゼンテーションをしよう ～

現代人にとってプレゼンテーションは、日常的な言語活動となっています。情報活用能力とともに、プレゼンテーションの力はもはや必須の言語能力であると言っても過言ではありません。では、中学校の国語科の学習でその力をどのように身につけさせていけばよいのか。悩みを抱えているのは、私だけではないと思います。

本校国語科では、上記の研究主題・副主題に基づき、①伝えたい思いや考えを明確にさせる ②自己の表現力の向上を実感させる手だてを講じ、意欲を高める この2点により、目の前の人の心を動かす表現活動に目を輝かせて学習活動に取り組む生徒の育成に取り組んでいるところです。

そこで、“**読むことから話すことへ**”という学習の流れを意図的に設定した、よりよいプレゼンテーションを目指す授業を提案いたします。

11月実施の日本探究（修学旅行）に向けて、本単元ではテーマを「和の心」とし、自分の周囲から日本の伝統文化としての「ひと・もの・こと」を再発見し、その魅力についてプレゼンテーションします。単元の前段に二つの説明文の読解学習を設定して、分かりやすく伝えるための構成や情報を整理する方法を学び、話すことにつなげていきます。伝えたい内容を持ち、方法を身につければ、表現活動の主体性や意欲は自ずと高まっていくはずで。

当日は、プレ発表会を公開いたします。少人数班で、互いのプレゼンテーションを評価し合い、主体的に改善していく中で、言葉にこだわり、表現を練り上げることの楽しさを実感する生徒たちの姿をどうぞ御覧ください。

メタ認知との関わり

メタ認知を正しく働かせるために、「初級」「中級」「上級」の3段階の目標を設定させます。これをプレゼンテーションを練り上げる場面において、達成度を捉える“ものさし”として活用しながら、自己を調整する機会を創出します。また、一人一台端末を用いて自分の姿を客観的に振り返らせることでメタ認知的活動を促します。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年6月19日（水） 13:20 ～ 16:45

